

ICT 活用授業実践モデル

授業者 福島県東白川郡棚倉町立棚倉小学校 教諭 本田 純一

- 1 学年・教科・単元名 6 学年・総合的な学習の時間・「棚倉町の良さを広めよう」
- 2 授業場所 6 年 2 組教室
- 3 授業形態 ☒一斉学習 ☒グループ学習 ☐個別学習 ☐その他 ()
- 4 ICT 活用場面 ☒導入 ☒展開 ☒まとめ ☒その他 (休み時間)
- 5 ICT の活用者 ☒教師 ☒児童・生徒 ☐その他 ()
- 6 ICT 活用の目的 ☒課題提示 ☒動機付け ☒教員の説明資料
☒学習者の説明資料 ☐繰り返しによる定着 ☒モデルの提示
☐失敗例の提示 ☐体験の想起 ☒比較 ☒振り返り
☐体験の代行 ☐その他 []
- 7 活用する ICT ☒タブレット ☐コンピュータ ☒プロジェクタ ☒スクリーン
☐デジタル黒板 ☐実物投影機 ☐デジタルカメラ ☐ビデオ
☒インターネット ☐デジタルコンテンツ ☐その他 []
- 8 本時のねらい ○ グーグルスライドを用い、グループで話し合いながら、棚倉町をアピールする電子パンフレットを改善することができる。
- 9 授業の実際

学習活動 ・ 内容	時間	指導上の留意点 ※評価
1. 本時の課題をとらえる。  棚倉町をアピールするより良いパンフレットを作ろう。	10	○ 前時に作成したパンフレットを提示して振り返り、学習を想起させる。
2. 課題を解決する。 (1) グループで改善点を話し合う ・文字の大きさ ・見出しやキャッチコピーの工夫 ・レイアウト ・色使い ・写真の切り取り方の工夫 (2) 話し合いにもとづいて、パンフレットを改善する。 	25	○ 良いパンフレットと良くないパンフレットを提示し、より良いパンフレットにするためにはどうしたらよいか具体的に考えられるようにする。 ○ 学習活動の(1)と(2)は必要に応じて往復させ、話し合いながらパンフレットの改善ができるようにする。 ○ 作成途中で問題が発生した場合は、グループ内で相談し、グループの中で解決に当たるように指示する。
3. パンフレットの中間発表をする。 (1) 発表する内容を話し合う ・工夫したところ ・苦労したところ ・見てもらいたいところ (2) 発表をし、本時の振り返りをする。 	7	○ 発表する班のパンフレットをプロジェクターに提示して学習を振り返り、全体に発表内容が周知できるようにする。 ※より良いパンフレットに改善することができたか。
4. 次時の課題を確認する。	3	○ 他の班の発表を参考にして、棚倉町をアピールする意欲を高めることができるようにする。